



# 名古屋の偉人伝

No. 1

## 柳河春三(やながわしゅんさん)の巻

ここがスゴイ！

新聞・雑誌発行の元祖。

なんと11ヶ国語に通じた多才な人。



『郷土偉人展覧会図録』より

こんな人生を送ってきました(経歴)

天保3(1832)年2月25日～明治3(1870)年2月20日

今の名古屋市中区丸の内生まれる。

3歳で尾張藩主の前で揮毫(きごう 筆で書をしたためること)した、4歳で笠寺観音の額を書いた、などの話が伝わっている。

25歳で江戸に出て、開成所教授を務めるなど活躍。日本で最初の雑誌『西洋雑誌』を慶応3(1867)年に発行。同じ年、日本で最初の国語の教科書『うひまなひ』を刊行。さらに翌年、『中外新聞』を発行した。他にも日本最初の算数の本、写真解説書などを執筆した各分野の「創始者」。

39歳の若さで亡くなった。

もっとくわしく知りたいあなたに(参考文献)

『明治の名古屋人』(名古屋市教育委員会／編 名古屋市教育委員会 1969年)

『柳河春三展を終えて』(中村新三著 1986年)

『郷土偉人展覧会図録』(郷土偉人展覧会／編纂 郷土偉人展覧会 1934年)

『中外新聞(合本)』会訳社 1号～45号(慶応4年2月24日～同6月8日)

※鶴舞中央図書館では新聞原紙を所蔵しています。(10号のみ欠)